

■新潟大学小児科アレルギーチーム

小児の慢性疾患では高い有病率と持つアレルギー疾患を専門領域として活動しています。少子化の世の中でも、アレルギーで悩む子供達は多く、その割には専門とする医師がまだまだ少ない領域です。

■主な活動について

◎専門領域：小児アレルギー疾患

食物アレルギー、アナフィラキシー、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎  
(一部、高校生から成人も対象)

◎活動内容

- ・それぞれの医療機関でアレルギー外来や、一般診療の中でアレルギーの専門的な診療の実施。  
近隣の医療機関からの患児紹介も多いです。

・専門的な検査・対応

食物アレルギー：食物経口負荷試験、スキンプリックテスト、食事指導

気管支喘息：呼吸機能検査、呼気中一酸化窒素濃度測定

アトピー性皮膚炎：スキンケア指導

アレルギー性鼻炎：舌下免疫療法

食物アレルギー患児は多く、食物経口負荷試験を頻繁に実施して有益な診療を目指しています。

■研究・研修について

◎グループ内

- ・定期的なチーム内での Web 会議

症例検討・相談や勉強会を行っています。

- ・外部の専門家による研修会

国内のトップランナーによる勉強会を随時開催しています。

◎アレルギー専門医の取得

日本アレルギー学会認定の専門医の取得を目標とし、その支援も行っています。

◎専門施設での研究・研修

小児アレルギー疾患を専門とする大学・医療機関への国内留学が行われています。

留学先：群馬大学小児科、国立病院機構相模原病院小児科、あいち小児保健医療総合センターアレルギー科

最近、「アレルギー疾患対策基本法」という法律が策定されるなど、国を挙げてアレルギー診療をより充実させる時代になり、活動の場が広がっています。また、特に食物アレルギーを中心とした園や学校でのアレルギー疾患への適切な対応を検討するために、各自治体や教育委員会などに協力を求められることも多くなっています。今後ますます必要とされるアレルギー診療にご興味のある先生方のご参加をお待ちしております。症例の相談などもお気軽にメンバーまでお声かけ下さい。

<チームメンバー>

小柳貴人、江村重仁、太田匡哉、田嶋直哉、田村千夏、額賀愛、相馬規子、新井啓、熊倉俊一、皆川雄介、村井英四郎、森川静、高橋早織、川崎裕介、高見暁